

7) 難波宮跡・大阪城連続一体化構想と大阪歴史博物館の建設

大阪市は昭和 60 年（1985）に、難波宮跡と北側に隣接する大阪城公園を一体的に整備し、古代から中世、近世へと続く大阪の歴史を凝縮した歴史公園とする構想を公表した。これに基づき関係者間で調整がすすめられ、両者の間に位置するNHK大阪放送局を西側隣接地に移転し、あわせて同地に難波宮のサイトミュージアムであるとともに大阪の都市の歴史に焦点をあてた歴史系の総合博物館である大阪歴史博物館を建設することとした。

博物館は平成 13 年（2001）11 月に開館した。概要は以下のとおりである。館の建物は地上 13 階、地下 3 階で、そのうち 10 階が難波宮を中心とした展示室である。展示室には後期難波宮の大極殿の内部空間を実寸大で復元した。展示室は地上 50m の位置にあり、展示室から眼下に隣接する史跡難波宮跡の全域を見下ろすことができる。背景には河内平野とその向こうに生駒山地から二上山、葛城・金剛連山を望むことができ、飛鳥・奈良時代の歴史舞台を一望のもとに見渡すことができる。

建物の地下には、発掘調査で見つかった前期難波宮の倉庫群とそれを区画する塀の遺構が保存されており（図 24）、学芸員の案内で見学することができる。大阪歴史博物館は、展示室の展示と地下の保存遺構、さらに眼下にひろがる史跡部分の三者が一体となった、この場所でしかできない館活動を目指したものである。



図 21 大阪歴史博物館（手前は後期大極殿復元基壇）



図 22 大阪歴史博物館 10 階展示室より史跡を望む

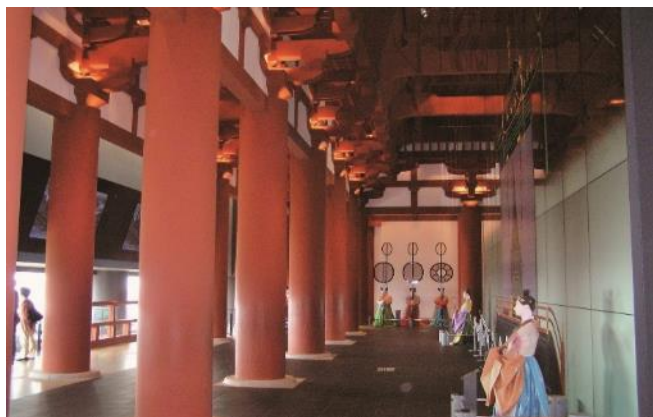


図 23 展示室内に復元された後期大極殿内部空間



図 24 地下に保存された難波宮遺構とその見学室

3 社会的環境

1) 難波宮跡公園の概要

難波宮跡公園は、歴史公園として昭和 49 年（1974）に 7.0ha が都市計画決定され、その後さらに 4.2ha が都市計画決定された。現在、南部ブロック・西部ブロックでは、遺構の保存・復元整備を一部おこなっているが、北部ブロックは都市公園としては開設しておらず、未開設区域となっている。西部ブロックは、1.2ha のうち 1.1ha が公園開設区域となっている。

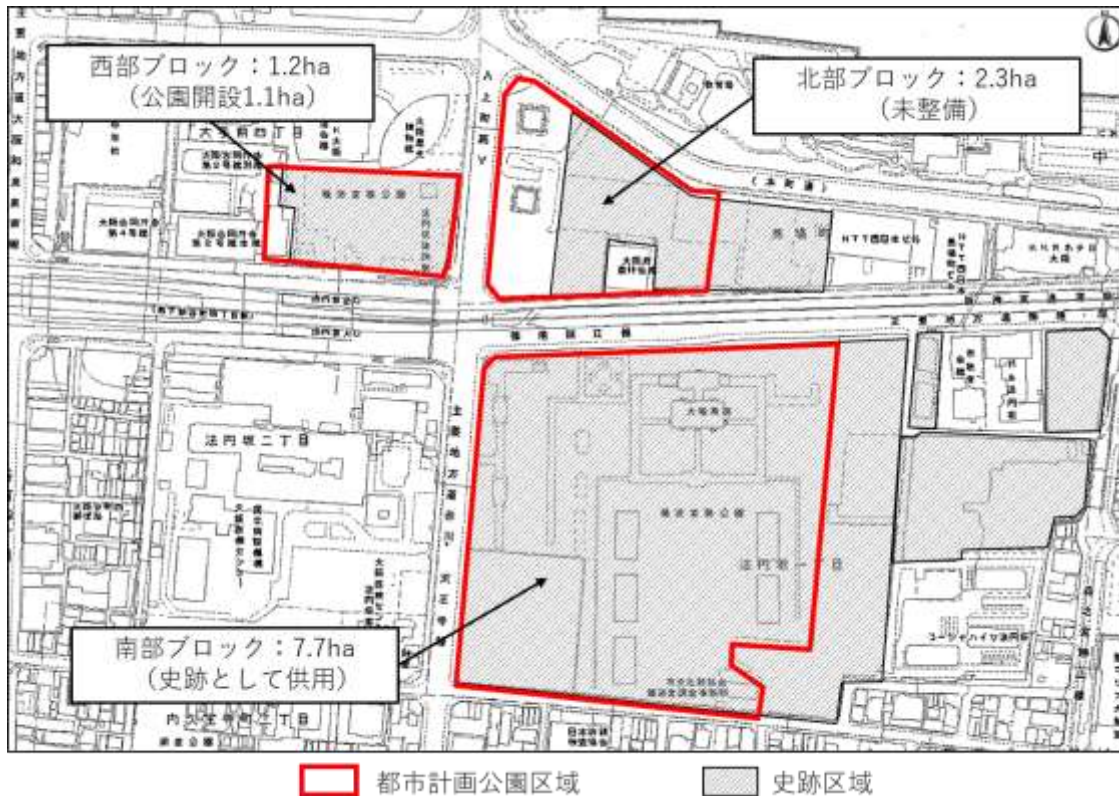


図 25 都市計画公園の範囲

2) 歴史、文化財関連施設

史跡難波宮跡周辺には、史跡や文化財が多数存在し、これらを結ぶ「歴史の散歩道」が設定されている。

①国指定文化財（史跡）

名称	種別	所有者	指定年月日
大坂城跡	特別史跡	国・大阪市・豊国神社	昭和 30 年(1955)6 月 24 日
難波宮跡附法円坂遺跡	史跡	国・大阪市・日本郵政(株)・西日本電信電話(株)	昭和 39 年(1964)5 月 2 日

②国指定文化財(建築物)

名称	種別	所有者	指定年月日
大阪城(大手門等)	重要文化財	国	昭和28年(1953)6月13日
大阪城天守閣	登録有形文化財	大阪市	平成9年(1997)9月3日

③府指定史跡

名称	種別	所有者	指定年月日
越中井	府指定史跡	大阪市	昭和13年(1938)5月11日
舎密局跡	府指定史跡	大阪市	昭和34年(1959)4月30日

④大阪市顕彰史跡

大阪ゆかりの遺跡や文化財の所在地を大阪市顕彰史跡として指定している。市制70周年記念事業の一環として、昭和34年(1959)より顕彰碑や顕彰パネルが設置されている。

計画地周辺の大阪市顕彰史跡について以下に整理する。

名称	指定年	
八軒家船つき場跡	昭和38年(1963)	
がっさんさだかず 月山貞一旧居跡	昭和46年(1971)	
難波宮跡	昭和56年(1981)	
石山本願寺推定地	平成7年(1995)	
三橋楼跡	平成24年(2012)	
森の宮貝塚	平成25年(2013)	

⑤歴史の散歩道

「歴史の散歩道」は市内の史跡や古くからの道筋などを結ぶモデルコースとして整備されており、散歩道には、「シンボルマーク」「案内板」「路面標示」の3種類の方法で案内表示がされている。計画地は「上町台地北コース」に紹介されている。



シンボルマーク
樹木と瓦を表現している
樹木（緑）、瓦（史跡）



案内板(サイン柱)



路面表示(つたい石)

⑥大阪歴史博物館（愛称：なにわ歴博）

大阪歴史博物館は、難波宮のサイトミュージアムであるとともに、大阪の都市の歴史に焦点を当てた歴史系の総合博物館である。NHK大阪放送局の新放送会館との複合施設として、大阪市と日本放送協会との共同で建設され平成13年（2001）に開館した。

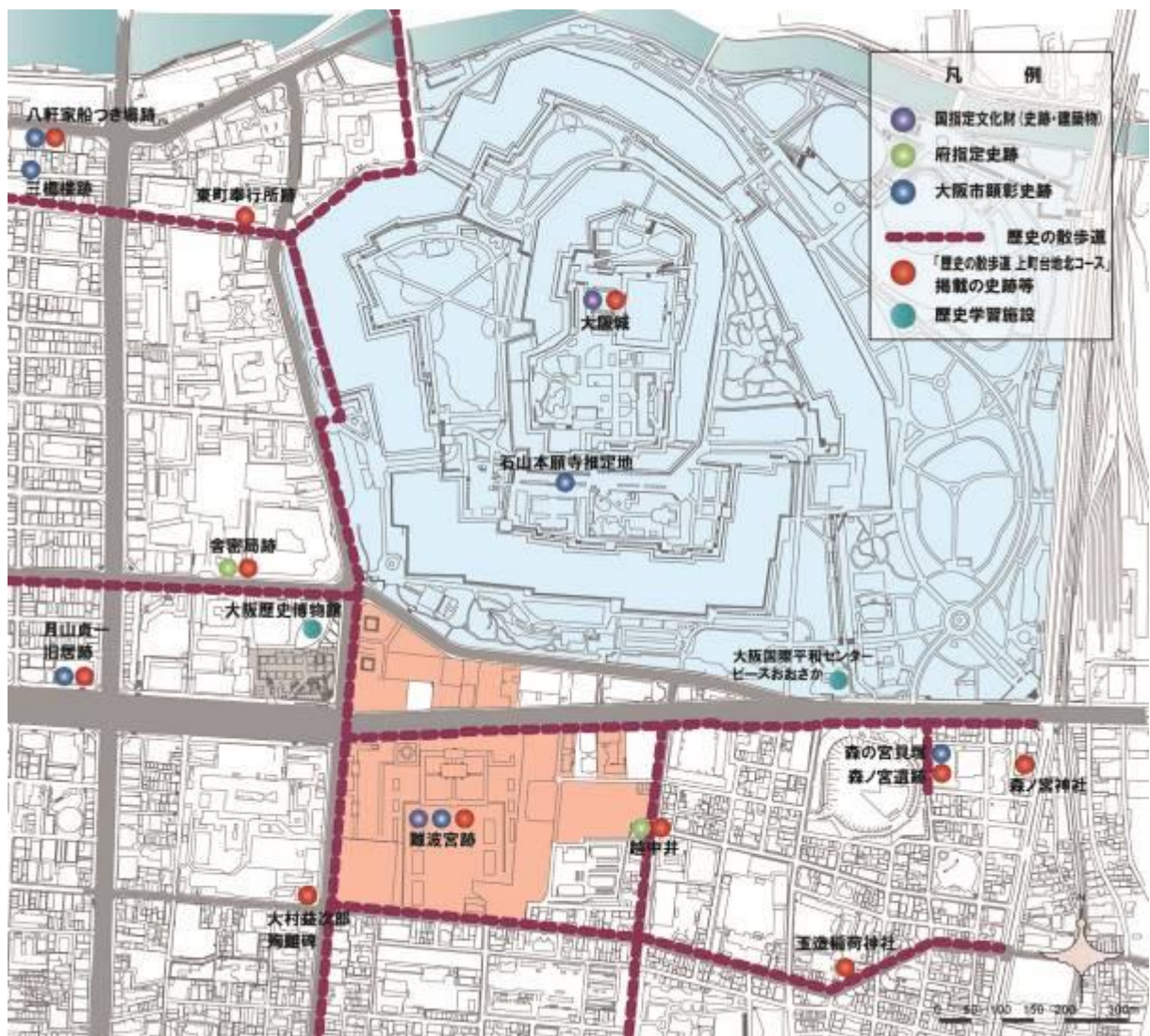


図 26 難波宮跡公園周辺の歴史関連施設配置図

3) 周辺大規模施設

史跡難波宮跡周辺には、行政施設や商業施設、教育・医療施設等の高層建築が立ち並んでいる。

難波宮跡公園周辺で、難波宮跡の遺構が発見された個所や、行政・商業施設、教育・医療施設において人の流れに着目し、多くの人が集まる施設を中心に下図に示す。

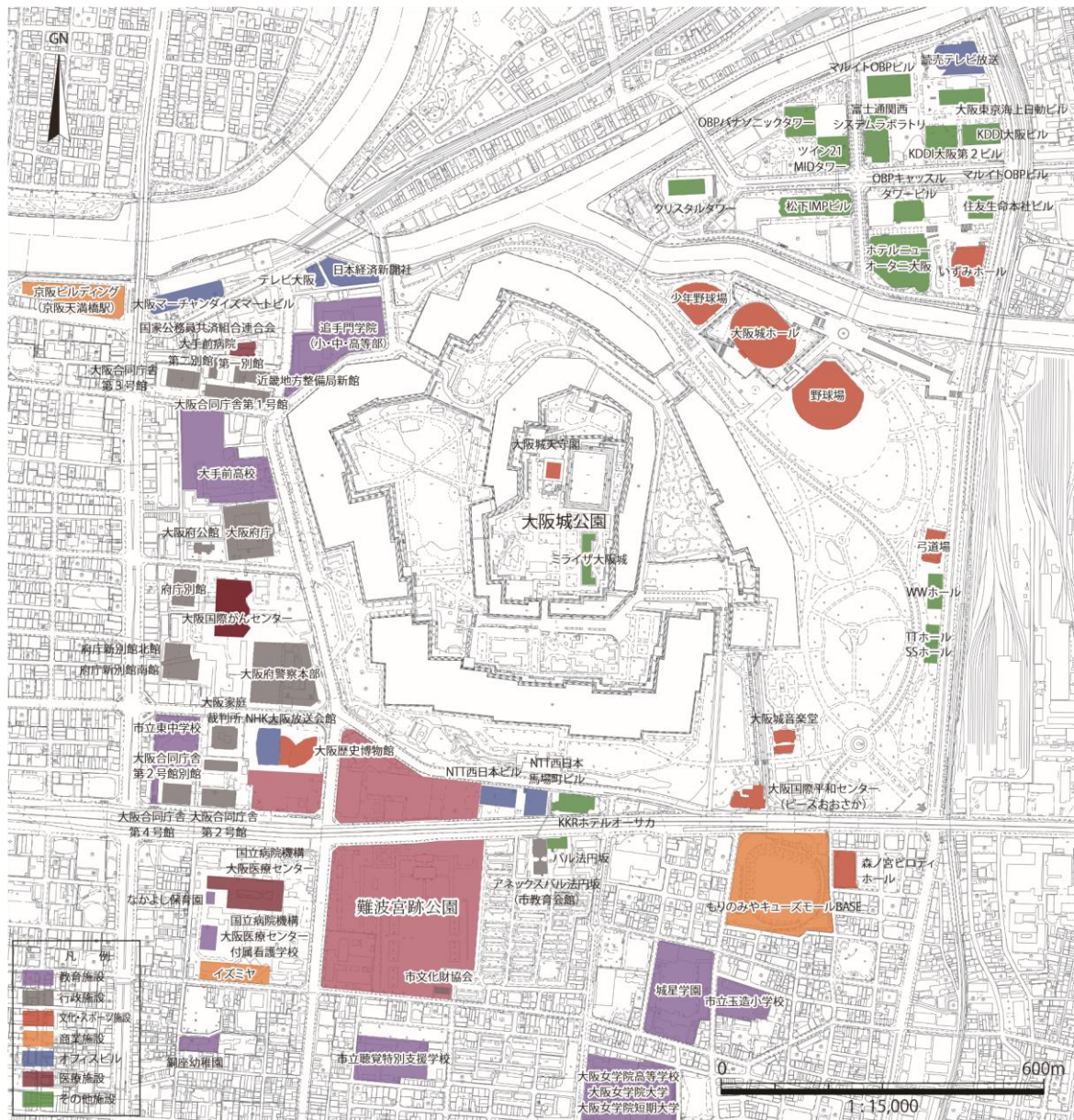


図 27 難波宮跡公園周辺の大規模施設配置図



大阪歴史博物館



大阪城天守閣



大阪国際平和センター
(ピースおおさか)



森ノ宮ピロティホール
(森の宮遺跡展示室)



大阪府本庁舎



大阪府警察本部



アネックスパル法円坂
(大阪市教育会館)



NHK大阪放送会館



国立病院機構大阪医療センター



NTT西日本ビル



府立中央聴覚支援学校



もりのみやキューズモール BASE

4) 緑の環境

① 周辺の都市公園

中央区は面積約 8.87 km²(887ha)のうち、公園面積が 13.5%を占める緑が多いエリアといえる。人口一人当たりの公園面積は 11.72 m²あり、大阪市内では最も多い値となっている。その要因は、100haを超える大阪城公園と 11.2ha の難波宮跡公園の存在が大きい。

大阪市全域としての都市公園の面積は約 3.48 m²/人であり、この数値は全国的にも低い数値であることは、留意すべきである。

計画地周辺の都市公園を以下に整理する。

中央区の公園状況

面積	人口	大阪市営公園（令和2年4月1日現在）			
		公園数	面積	公園面積の割合	人口1人当りの公園面積
8.87 km ²	102,232 人	30 箇所	1,198,605 m ²	13.5%	11.72 m ²

「大阪市都市公園一覧表（令和2年4月1日現在）」

計画地周辺の都市公園

公園名	公園種別	位置	都市計画決定面積	開園年月日
①難波宮跡公園	歴史公園	大手前4丁目	11.2ha	2001(平成13)年11月1日
②大阪城公園	歴史公園	大阪城	106.9ha	1931(昭和6)年11月16日
③広小路公園	街区公園	上町1丁目	0.43ha	1954(昭和29)年3月31日
④寺山公園	街区公園	上町1丁目	0.19ha	1956(昭和31)年10月15日
⑤越中公園	街区公園	玉造2丁目	0.66ha	1970(昭和45)年3月2日
⑥銅座公園	街区公園	内久宝寺町2丁目	0.52ha	1970(昭和45)年3月2日
⑦玉造公園	街区公園	玉造2丁目	0.52ha	1960(昭和35)年5月5日
⑧城南公園	街区公園	森ノ宮中央1丁目	0.54ha	1966(昭和41)年5月5日
⑨森之宮公園	街区公園	森ノ宮中央1丁目	0.24ha	1956(昭和31)年5月17日

※歴史公園・・・「特殊公園」の「歴史公園」に位置づけられる。

史跡、名勝、天然記念物等の文化財を広く一般に供することを目的とする公園で文化財の立地に応じ適宜配置する。

※街区公園・・・「基幹公園（住区基幹公園）」の「街区公園」に位置づけられる。

もっぱら街区に居住する者の利用に供することを目的とする公園で、誘致距離250mの範囲内で、1箇所当り面積0.25haを標準として配置する。



図 28 難波宮跡公園周辺の都市公園配置図



①難波宮跡公園 北部ブロック



①難波宮跡公園 南部ブロック



②大阪城公園



③広小路公園



⑤越中公園



⑥銅座公園